

杉並区まち・ひと・しごと創生総合戦略(案)の概要

～将来にわたる杉並区と地方の発展のために～

(計画期間)
平成 27 年度～31 年度

策定の趣旨

日本は、平成20年をピークとして人口減少局面に入っており、今後は少子高齢化が一層進んでいきます。また、都市部では急速に高齢化が進むともいわれており、医療や介護の不足も心配されています。さらに、働く世代の人口が減少すれば、社会、経済活動の低下や、社会保障費の増大なども引き起こします。

近年、区の人口は増加しており、人口減少とは無縁にも見えます。しかし、区の人口増加は、地方からの転入が主要因であり、日本の総人口が減少すれば、区もその影響を受けることは避けられず、人口減少を区の問題として認識する必要があります。

区は、日本全体の課題である人口減少・少子高齢社会に対応し、将来にわたって活力ある社会の維持を目指す「まち・ひと・しごと創生」に取り組んでいくため、総合戦略を策定します。

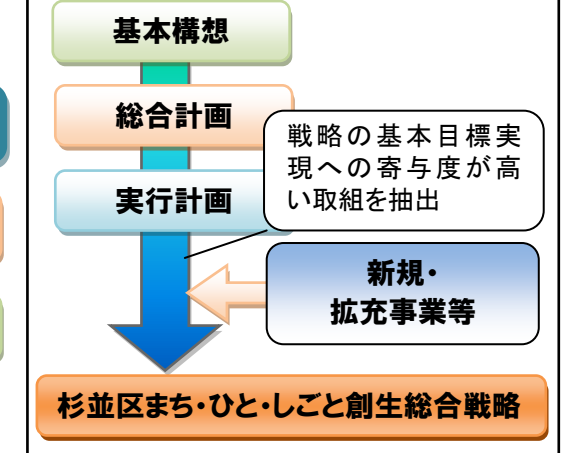
3つの基本目標

基本目標1 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

基本目標2 地方との連携により、豊かな暮らしをつくる

基本目標3 来街者を増やし、まちのにぎわいを創出する

【他計画との関係】



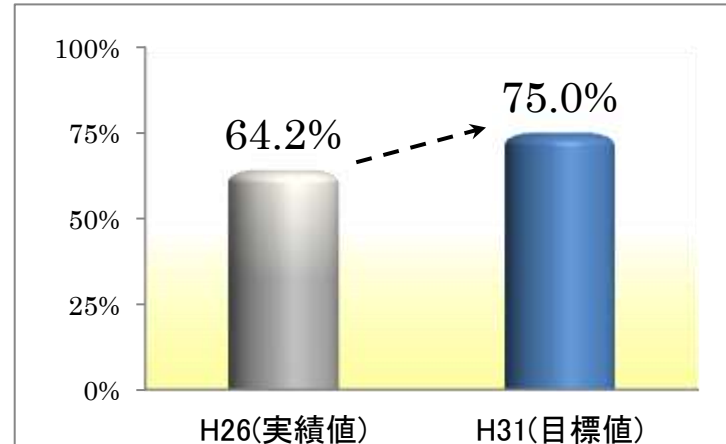
◆基本目標1◆

若い世代の結婚・出産・
子育ての希望をかなえる

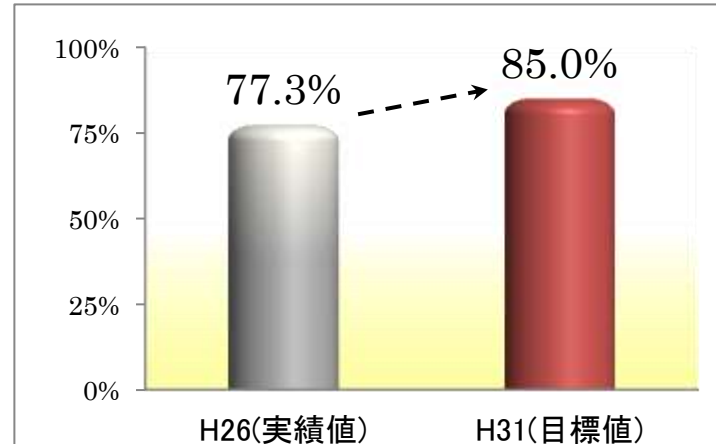


- 待機児童解消に向け平成 22 年度から保育定員を約 2,890 人拡充
- 平成 17 年以降は、出生数及び出生率ともに増加傾向
- 区民アンケートでは、
 - 結婚意向のある男女は約 8 割
 - 希望する子どもの数「2 人」が約 5 割で 1 位。平均では、2.27 人
 - 今後子どもを持つ条件は「地域の保育サービスの充実」が 1 位

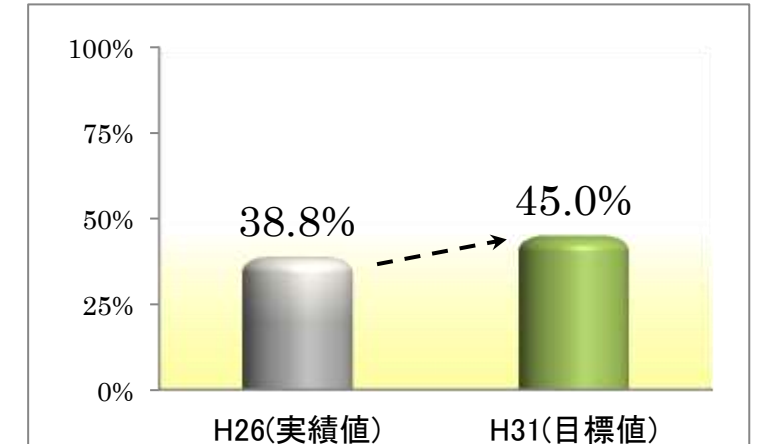
平成31年度の 目標値



【仕事と家庭の調和が図られていると感じる割合】
(区民意向調査による)



【若者(18～39歳)の定住意向】
(区民意向調査による)



【出生数に占める第二子以上の割合】
(区出生統計による)

目標実現のための基本的方向

- 結婚の希望をかなえるための支援
- 安心して妊娠・出産するための支援
- 安心して子育てするための支援

主な取組

- ◆結婚に向けた出会いの場の創出【新規事業】
- ◆妊娠期からの相談・支援の充実【拡充事業】
- ◆多子世帯への子育て応援券の増額交付【拡充事業】
- ◆認可保育所等の整備
- ◆学童クラブの利用時間の延長【拡充事業】
- ◆多子世帯の保育料等の負担軽減の実施【拡充事業】
- ◆ファミリー向け住宅の供給促進の支援【新規事業】

